



「リモートサービスセキュリティガイドライン 附属書 B ISMS準拠リモートサービスリスクアセスメント表」の使用方法

- ・本表の使用は、「リモートサービスセキュリティガイドライン」を理解されていることが前提となります。
- ・本表は自由にお使いいただける「ISMS準拠リスクアセスメントTemplate」と、ガイドライン本体と同様の「リモートサービスリスクアセスメント見本」（内容変更不可）から構成されています。
- ・「ISMS準拠リスクアセスメントTemplate」は、ISO/IEC 27001およびJIS Q 27001の管理策（コントロール）のリストとなります。
- ・「資産と脅威の対象範囲」にある各項目は、ガイドライン本体の附属書 Aを参照してください。
- ・リスクアセスメントの対象が、ガイドライン本体が示す運用形態に合致しない場合は、「ISMS準拠リスクアセスメントTemplate」を適宜変更して、リスクアセスメントを実施してください。
- ・「リモートサービスリスクアセスメント見本」では、リスク評価を「**リスク評価 = 脆弱性（機密性・完全性・可用性） × 影響性 × 発生可能性**」で算出しています。

※「ISMS準拠リスクアセスメントTemplate」には、自動計算機能はありません。

※入力できる項目の詳細や、各用語の解説は「リモートサービスセキュリティガイドライン」をご参照ください。